

9 月度の報告と次月度以降の活動予定

【9月の活動】

	予定		
栃木県生協連	9月 5日 6日	木金	6県連合同業態研修会(那須にて)
	9月 7日	土	いわき市四倉仮設住宅お茶会支援
	9月 10日 11日	火水	神奈川県連視察交流(足尾銅山生協にて)
	9月 12日	木	栃木放送番組審議会
	9月 17日	火	ふれあいお茶会
	9月 20日	金	常務理事会
	9月 24日	火	地連運営委員会・県連活動推進会議
	9月 28日	土	生協総合研究所「全国研究集会」
	9月 30日	月	くらし部会「非電化工房視察」(那須)
ネットワーク	とちぎ食の安全ネットワーク (全体会)9月26日(木)13時半～「食品表示セミナー」 とちぎ消費者ネットワーク (全体会)9月10日(火)13時半～		
県及び他団体との協働の予定	9月 1日	日	栃木県・足利市総合防災訓練
	9月 4日	水	栃木県地産地消推進協議会
	9月 20日	金	「コウノトリ・トキの舞うふるさとおやまをめざす会」総会
	9月 26日	木	労働者福祉協議会幹事会
	9月 29日	日	もったいないフェアうつのみや

【次月度以降(10月 11月)活動予定】

	予定		
栃木県生協連	10月 1日	火	行政生協連絡会議
	10月 15日	火	ふれあいお茶会
	10月 17日	木	上期監査
	10月 19日	土	いわき市四倉仮設住宅お茶会支援
	10月 21日	月	労働局雇用均等行政推進委員会議
	10月 24日	木	理事会(パルティ 302A)
	11月 1日	金	新潟県生協連 50周年祝賀会
	11月 12日	火	常務理事会
	11月 13日	水	報道代表者会との懇談会
	11月 15日	木	理事長専務会議
	11月 25日	月	くらし部会
ネットワーク	食の安全ネットワーク (世話人会)10月21日(月)13時半～ 福祉ネットワーク (全体会)10月10日(木)13時半～学習会・(世話人会)11月6日15時30分～ 消費者ネットワーク (幹事会)10月15日(火)14時～・(全体会)11月19日(火) [市長訪問予定●10/8 小山市●10/18 下野市●11/8 那須塩原市●11/8 大田原市 ●11/8 さくら市●11/11 矢板市●11/26 足利市]		
県及び他団体との協働の予定	10月 5日	土	エコ森フェア
	10月 6日	日	うつのみや食育フェア・元気なとちぎ消費生活市
	10月 13日 14日	土日	水郷水都全国会議「茨城大会」
	10月 23日	水	食育推進大会 2013 総合文化センター
	10月 27日	日	協働まつり(栃木市)
	10月 29日	火	中央労金全体会議
	11月 7日	木	食の安全フォーラム 13時30分～ 総合文化センター
	11月 30日 1日	土日	ECOテック&ライフとちぎ 2013 マロニエプラザ

【部会活動】

(1) 暮らし部会

「2020年までの核兵器廃絶を目指して「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める要請書」¹の署名運動は、9月30日現在取り組み継続中です。また、「うちエコ診断」²も年内終了を目指して取り組み継続中です。

	とちぎコープ	よつ葉生協	生活クラブ生協	栃木県職員生協	栃木県学校生協	その他
署名	6153 筆			152 筆	52 筆	20 筆
うちエコ診断	/130 人	/10 人	10/人			

(2013年9月末日現在)

10月6日の「元気なとちぎ消費生活市」と「うつのみや食育フェア2013」、「ECOテック&ライフとちぎ2013」に参加する内容の準備を進めました。

本年度第二回目学習会が9月30日に行われ「非電化工房那須アトリエ(藤村先生・日本大学客員教授)」を見学しました。電気を使わない様々な発明品や環境にやさしい暮らし方について学習しました。

(2) 職域部会

9月5日、6日にホテルエピナール那須にて6県連合同業態研修会³を開催しました。初日は各県連の職域の取り組み交流を実施し、翌日はカゴメ那須工場、那須ガーデンアウトレット内ロコモマーケットを視察し、大田原ツーリズムの地場商品開発のお話を伺うなどを実施しました。全体で34名の参加があり、次回は茨城県が会場となります。(写真)



【ネットワーク活動】

(1) とちぎ食の安全ネットワーク

11月7日(木) 13時30分～16時30分開催予定(於: 栃木県総合文化センター)の「第12回とちぎ食品安全フォーラム」について、内容の協議を進めました。基調講演は、「放射性物質の特用林産物(きのこ・山菜等)への影響について」講師: 独立行政法人 放射線医学総合研究所 福島復興支援本部 環境動態・影響プロジェクトリーダー 吉田聡氏となりました。

また、食の安全地域フォーラムでは、県北・県央・県南(県北会場12月2日JAしおのや交流館・県央会場未定・県南会場1月29日)の3ヶ所で計画を具体化しています。

学習会では、9月26日(木) 13時30分(於: とちぎアグリプラザ)から日本生協の鬼武安全室長による「新食品表示法による食品表示」を37名参加で実施しました。(写真)



(2) とちぎ消費者ネットワーク

【消費者条例】

市の消費者条例策定にあたり、ネットワークとしての試案を作成し、県に試案の提出をしました。市町の条例策定促進を図るために首長訪問を計画しています(11市13町が対象=条例のある宇都宮市、鹿沼市、栃木市を除く市長の訪問を優先的に進める計画で、日程調整を進めています)。

¹ 2008年4月、平和市長会議は2020年までに核兵器を廃絶するための具体的なプロセスを示した「ヒロシマ・ナガサキ議定書」を発表し、2010年のNPT再検討会議での採択を目指し、様々な取組を進めてきました。採択は実現しませんでした。採択は実現しませんが、同会議での最終文書には協議書が掲げた「核兵器禁止条約」について初めて言及がなされました。この成果を踏まえ、平和市長会議では、加盟都市を始め、核兵器廃絶を目指す世界的ネットワークやNGO、市民団体との連携を強め、核兵器禁止条約の早期交渉開始を求める要請活動を展開しています。

² 1人ひとりの生活の「行動の変化」で、節電やCO2の削減を目指します。各家庭の“どこから”“どれだけ”CO2が出ているかを知る「自己分析」シートとうちエコ診断士によるアドバイスで、エコな暮らしにどんどん改善して行きます。栃木県地球温暖化防止活動推進センターが推奨し、暮らし部会では要請を受けて150人の診断受診者を目指しています。

³ 6県連合同業態研修会とは、茨城・群馬・長野・新潟・埼玉県生協連の職域生協の交流を目的に年に1回開催される研修会です。本年は当県連に当たり準備を進めてきました。

【消費者シンポジウム】

恒例の消費者シンポジウムの取り組みについて検討を進めています（市長訪問終了後を予定）。

【受託事業「とちぎ消費者カレッジ4」】

9月で5会場終了し、227人（県の仕様書目標400人）の参加となりました。

学校名(学部)・タイトル	日	講師	参加人数
宇都宮共和大学シティライフ学部カレッジ 「若者と消費者問題・トラブルから考える法学入門」	7月9日(火) 14時50分～	シティライフ学部 専任講師 吉良貴之氏 弁護士 梅山哲也氏 千葉大学法経学部総合政策学科 准教授 横田明美氏	31人
宇都宮共和大学下野新聞 NEWS CAFE カレッジ 「賢い消費者になって社会に出よう・カフェで語るネットトラブル対処法」	7月20日(土) 17時～	シティライフ学部 専任講師 吉良貴之氏 弁護士 梅山哲也氏 千葉大学法経学部総合政策学科 准教授 横田明美氏	23人
マロニエ医療福祉専門学校看護学部カレッジ 「虚と実と」	9月9日(月) 15時20分～	宇都宮大学名誉教授 杉原弘修氏	81人
マロニエ医療福祉専門学校医療学部カレッジ 「大規模消費者事件の報道の裏」	9月13日(金) 15時20分～	弁護士 服部有氏	45人
マロニエ医療福祉専門学校 福祉学科カレッジ 「虚と実と」	9月17日(火) 11時～	宇都宮大学名誉教授 杉原弘修氏	47人
作新学院大学女子短期大学ライフデザインカレッジ 「ストップ・ザ・悪徳商法！～いま、みなさんが狙われています～」	10月7日(月) 14時40分～	弁護士 小倉崇徳氏	
小山歯科衛生士専門学校歯科衛生学科カレッジ 「契約の意味と消費者被害の実態」	10月7日(月) 13時35分～	弁護士 山口益弘氏	
宇都宮大学学生生活セミナー 「携帯電話・スマホのトラブル対処法」	10月28日(月) 16時10分～	NPO 法人とちぎ消費生活サポートネット 山田英郎氏・本山路子氏	
小山歯科衛生士専門学校歯科衛生学科カレッジ 「若者の消費者問題を考えてみよう・相談の現場から伝えたいこと」	11月13日(水) 15時20分～	NPO 法人とちぎ消費生活サポートネット 白土美代子氏	
白鷗大学	11月12日(火) 13時5分～	横浜国立大学教授 西村隆男氏	
合計		10会場	227人

(3) とちぎ福祉ネットワーク

10月10日(木) 13:30～(ふれあいコープ 地域交流室) 講師服部メディカル研究所 服部真理子所長による「社会保障制度改革」で何がかわるのか?～利用者にとって留意すべきこと～をテーマに学習会を準備しています。

【震災支援】

ふれあいお茶会 9月17日(火) 10時～12時(於:特養みどり地域交流室) 第25回のお茶会を実施しました。避難者11名(うち子供1名)の参加があり、支援スタッフはウィズ2名・よつ葉生協2名・とちぎコープ8名・県連会長の13人名で開催しました。十五夜が近いということでお月見の飾りを用意し、月見だんごを参加者と一緒につくりました。皆さん笑顔で印象的でした。渡部さんから梅ドリンクや新米で作った混ぜご飯等をご提供いただきました。柳沼さんが2ヶ月ぶりに見え「久しぶり」と声がかかり、すぐに打ち解けておしゃべりをしていました。参加者の会話では「月に一度、みんなに会えて一緒に食べていると自然と笑顔になる。」「ここに来るのが楽しみ。」と笑顔が広がりました。一方、「新聞で嫌な記事は飛ばして読まないようにしている。」という方がおられ、つらいお気持ちの方がいらっしゃいました。次回は、10月15日(火)です。

いわき市四倉仮設住宅お茶会支援 9月7日(土) 第19回のお茶会を実施しました。避難者12名の参加があり、支援スタッフはとちぎコープ7名県連会長と事務局の2名で、合計8名で開催しました。新生姜や塩こんぶの入ったおにぎり、なすやピーマンの料理を提供し、手作りせっけんを作りました。新しく参加された

⁴ 栃木県の消費者被害に関する委託事業、若者が消費者被害に遭わない為の啓発をする取り組み。

方もいて好評でした。被災地の最近の様子については、イノシシや牛は糞まみれのような状態、除染はすすんでいるが治安は良くない感じだそうです。また、仮設には気軽に人を呼べる状態ではないので、自分も出かけなくなったという声も聞かれました。男性陣は、福島原発に近い火力発電所付近に出かけてみました。津波で流された車両などはそのまま放置されており、工事関係者しかいない状況で復旧にも程遠い印象を受けました。震災から3年目を迎えていますが、引き続き支援の継続が大切です。

【行政他団体との協働】

- (1) 9月1日「栃木県、足利市合同総合防災訓練」が実施されました。栃木県生協連は、ローソンと一緒に応急物資の供給訓練を行いました。とちぎコープの車両4台および訓練参加職員9名、よつ葉生協からは車両1台、職員3名が参加し、医療生協からは2名が参加し血圧診断の取り組みを行いました。県連が3名参加し、全体で17名の参加でした。次年度は下野市の予定です。
- (2) 9月10日11日と神奈川県生協連の皆さん12名が、田中正造ゆかりの地、佐野・足尾・渡良瀬遊水地の視察に視えました。交流も含めて、視察のお手伝いをさせていただきました。
- (3) 協同組合連絡会では、12月6日（金）開催予定の交流会内容について、JA中央会事務局と準備を進めました。

栃木県生活協同組合連合会

事務局：〒320-0052 栃木県宇都宮市中戸祭町821 労働者福祉センター6F

電話：028-624-6650 FAX：028-624-6652 t-kenren@nifty.com <http://homepage2.nifty.com/tochigikenren/>